

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連	良く なっている やや良く なっている	商店街（事務局 長）	来客数の動き	・商店街内に4月中旬にオープンした商業施設の集客効果で、土日祝日の通行者数は前年の2倍となった。
		商店街（代表 者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中の来街者数もかなり多く、その後も夏物衣料がよく売れている。さらに土日を中心に観光客も多く、賑わっている。
		スーパー（店 長）	単価の動き	・昨年は東日本大震災の影響もあって、全体的に低迷していたが、今年は持ち直してきている。
		乗用車販売店 （役員）	販売量の動き	・エコカー減税の継続と補助金によって、受注は堅調に推移している。また新車のマイナーチェンジも控えており、すぐに受注が落ち込むとは考えにくい。
		通信会社（営業 担当）	お客様の様子	・昨年より来店数が多く、販売も順調であるが、他社との競争が激化している。
変わらない		商店街（代表 者）	それ以外	・国内外の政治・経済問題の解消見通しが立たない中、国民の消費意欲が上向いていない。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	販売量の動き	・母の日に伴う注文数は、東日本大震災前の年の水準まで持ち直したものの、その後の注文数が伸びない。
		百貨店（営業 担当）	来客数の動き	・来客数がやや減少し、売上も平均単価が少し下落してきている。
		スーパー（企画 担当）	お客様の様子	・昨年の東日本大震災後の備蓄需要は一段落し、当時の供給不足商品は売上が回復しつつあるが、総合的には前年並みの水準となっている。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・売上はほぼ前年並みで、競合店の出店もなく、安定している。
		コンビニ（店 長）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク期間中は売上が減少したが、最近になってようやく活気を感じられるようになった。ただ、消費者の消費のメリハリがよりシビアになっていると感じる。ボーナス支給時期までは節約傾向が続くと考えている。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・新たに出来た大型商業施設の影響を受け、来客数が減少していたが、ようやく落ち着いてきている。
		衣料品専門店 （副店長）	来客数の動き	・顧客単価は前月に比べて上昇しているが、来店客数はあまり変わっていない。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・来客数が減っているものの、2月・3月と比べて、売上はほぼ変わらない。
		家電量販店（営 業担当）	販売量の動き	・気温が上昇し、エアコンは省エネ対応商品を中心に動きが出てきている。さらに今月は、家の新築に伴う冷蔵庫の買換えが目立った。しかし、来店客数の減少が平日を中心に続いている。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金の駆け込み需要を期待していたが、ハイブリッド車の納車に時間がかかるため、補助金の申請が間に合わないと判明したことから、受注が減少している。ハイブリッド車以外は動きが悪く、全体では販売量に大きな変化は無い。
		都市型ホテル （経営者）	単価の動き	・単価が安いものはよく売れる一方で、単価が高いものは売行きが鈍い。宿泊者数が増加しても、単価が下落するという傾向があり、横ばいである。
		旅行代理店（支 店長）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク期間中の個人旅行の売上は予想を下回ったが、夏季の個人旅行申込が増加傾向である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・春のお遍路さんの客が多い。しかし、予想していたほどでなく、前月より減っている。
		通信会社（営業 担当）	販売量の動き	・毎年5月は販売数が落ち込む。販売予想は季節変動を加味しており、ほぼ予想どおりとなっている。そのため、景気が良いとも悪いともいえない。
		ゴルフ場（従業 員）	来客数の動き	・気候の良いシーズンになったので来場者の伸びを予想していたが、予想に反して増えていない。
		競艇場（職員）	販売量の動き	・ゴールデンウィークは、売上増を期待していたが、3か月前比で4.3%減となった。場内の一部施設が改修中であること、開催日数が少なかった等が影響しており、通常の開催日数であれば6%程度増加していたと予想される。
		美容室（経営 者）	お客様の様子	・既存客がほとんどで、新規客が少ない。
		設計事務所（職 員）	販売量の動き	・前年度補正予算により受注した業務を抱えており、現状は売上を維持できている。しかし、今後は手持ち量が減少していくため、悪くなると予想される。

やや悪くなっている	一般小売店〔書籍〕(営業担当)	販売量の動き	・店頭売上の落ち込みを外商でカバーしている状況であるが、完全にはカバーしきれていない。	
	一般小売店〔酒〕(販売担当)	販売量の動き	・同業者と話をして、良いという話は無く、どこも販売数が減少している。特に打ち立てる対策もない状況である。	
	百貨店(総務担当)	販売量の動き	・催事により来客数はプラスであったものの、店内全体への波及効果はみられない。消費者は目的の商品だけを購入する傾向が強い。	
	コンビニ(総務)	来客数の動き	・来客数が前年比2%以上ダウンしている。	
	衣料品専門店(総務担当)	単価の動き	・売上高は前年並みで推移しているが、客単価が大きく下落している。来客数が増えているので売上高は維持できているが、消費者の購買意欲は明らかに減少していると感じる。	
	家電量販店(店員)	単価の動き	・全体的に商品価格自体が下落しており、更にその中から低価格商品を選ぶ傾向が多く見受けられる。	
	乗用車販売店(従業員)	来客数の動き	・5月に入り、売上が落ち込んでいる。	
	乗用車販売店(営業担当)	販売量の動き	・エコカー減税・補助金の効果はあるものの、消費者の購買意欲は上がっていない。	
	観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・宿泊客が伸びていない。集客がゴールデンウィークに集中し、それ以降は土曜日でも利用が伸びない。連休時期に旅行が集中して、それ以外の時期はあまり旅行をしない傾向がある。更に、企業の会合等もあまり開かれていない。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・忙しくない状態が続いている。ゴールデンウィークでも、以前のようにタクシーを利用する旅行は少ない。	
	通信会社(企画)	お客様の様子	・消費者の様子をみると、高額な商品への関心が低下しているように思われる。	
	美容室(経営者)	お客様の様子	・専業主婦層の節約傾向が顕著に出ている。	
悪くなっている	一般小売店〔酒類〕(経営者)	販売量の動き	・主な販売先である飲食店の動きがとても悪い。	
	一般小売店〔菓子〕(総務担当)	来客数の動き	・震災復興景気が一段落した感じであり、消費が鈍化傾向にある。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・小売店向けの販売が順調である。
		一般機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・受注量・販売量ともに増加傾向にあり、増産も視野に入れている。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・最近、再生可能エネルギーの固定価格買取制度により、多くの引合や仮注文が入ってきている。注文の単価も高く、良くなっていると感じる。
		電気機械器具製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・世界的に受注量が若干上昇しており、やや上向きであると感じる。
	金融業(融資担当)	取引先の様子	・住宅新築やマンション購入、自家用車購入を新たに実施したり、検討する顧客が増加傾向にある。	
変わらない	農林水産業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・競合他社を含めて供給量が増えている。一方で店頭販売価格は高いままで、荷動きが鈍い。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・原料や資材価格が値上がりしており、販売価格の引上げを要請しているが、要請が通らない。	
	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・公共事業を2件受注できたが、全体的に受注量が足りないと感じている。	
	輸送業(経営者)	取引先の様子	・受注量などは回復している。	
	通信業(部長)	受注量や販売量の動き	・法人の携帯電話の新規・買換え需要に変化はない。	
	公認会計士	取引先の様子	・5月の関与先企業の試算表等では、前年比でほとんど変動のないところが70%を超えている。	
やや悪くなっている	鉄鋼業(総務部長)	受注価格や販売価格の動き	・主要取引先から、これまで当社が100%受注していた製品の一部を価格の安い中国企業へ発注するとの通告を受けた。	

	輸送業（営業）	取引先の様子	・5月は前年を2割ほど下回る見込みである。複数の業者から見積を取って、最安値の業者に発注して物流コストを削減し、経営の安定化を図ろうとしている荷主が増加している。ただ最安値の業者が断った場合に従来の業者に出荷を戻す場合があるため、突発的な発注への対応に苦慮している。	
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・荷主側の生産量調整によって輸送量が減少している。	
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・特に教育関係の取引先が、少子化による市場の縮小を見据えた動きを加速させていると感じる。	
	悪くなっている	-	-	
雇用 関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き ・前年比で約2割、求人数が増えている。特に顕著に増えている業種は無く、全体的に人手不足感がある企業が増えてきている。	
	変わらない	人材派遣会社（営業）	採用者数の動き	・新年度に入ったため、特別な理由がない限り、増員や補充など新たな雇用創出に結びついていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・現状は車関係の会社と、昨年は東日本大震災の影響で予算を大幅に削減されていた各種団体が回復して下支えしているが、小売業は相変わらず不調である。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・昨年同時期と比べて求職者が3割増加している。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣会社の求人募集が減っている。
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・新卒求人が減少傾向にある。新卒採用を毎年実施している企業の新卒採用人数が、平均で約2割減っている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・2か月連続して新規求人数が減少している。
		職業安定所（職員）	それ以外	・4月の月間有効求人倍率は0.64倍で、3か月前を0.11ポイント下回った。
		悪くなっている	-	-